

第26号
発行日:平成11年10月20日
発行所
東京青山同窓会事務局
〒151-0072
渋谷区幡ヶ谷1-7-4
深津ビル4F
TEL. 03-3378-6616
発行者 坂井 俊一

東京会報

東京青山同窓会

一東京青山同窓会年間維持費—
1口/1,000円2口以上(年間)
会計幹事:山根 伸之(64回)
振込先
安田信託銀行 虎ノ門支店
普4046552 東京青山同窓会
郵便振込口座 00150-9-4074

平成11年度 東京青山同窓会 講演会・新人歓迎会

平成11年6月11日(金) 於: ホテルニューオータニ

今年の新人歓迎講演会の会場は、昨年の屋台村とはがらりと変わり山手線の真中、ホテルニューオータニ。

入り口から迷路の様なホテルの中を100m以上も歩き、会場の折り鶴の間へ、例年と違う会場の雰囲気覚えた途惑いも懐かしい人々との再会に、いつもの和やかな空気へと変わっていきました。

エベレスト登山の石黒久先輩(73回)の講演「元気を出せ青山健児」ではエベレスト登山の苦労話、頂上で日の丸の旗を飛ばしてしまい、朝日新聞のトップを飾った写真の旗は、大成建設の社旗であったとの裏話もさることながら、良き仲間との出会い、チームワークの大切さ、一緒に行った仲間たちの思いに後押しされての登頂であったことを熱く語ってくださいました。

そして今、その時世話になったネパールに発電所建設で恩返しができるうれしさと、聞いていても男冥利につける話に、胸が熱くなり私のみならず、出席者一同、

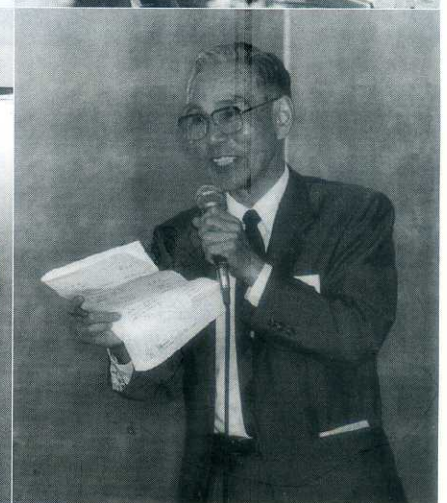
自分も頑張らねばと励まされました。

さて講演会が終わり、懇親会は新旧入り乱れてのバトルロイヤル、今年は名刺の交換だけでなく、学生諸君とのメールアドレスの交換と、ネットワークの普及を実感しました。

懇親会は富所強哉先輩(46回)の旧制校歌、菊池隆先輩(74回)の新人を引き連れての新制校歌から応援歌「丈夫」でピークを迎え、最後に富所先輩の凱旋歌でお開きとなり、テンションの上がったまま二次会に突入!栗林会長以下、用意した席に入りきれないほどの出席があり大いに盛り上がりました。その後も栗林会長以下数十名が三次会まで付き合っていた楽しい時間を過ごしました。

この同窓会が元気の源になっているのは、私だけではないと思います。また秋の総会が楽しみです。

島津 孝(84回)



新人歓迎会・講演会(紙上再録) 元気をさせ青山健児

「エベレストの邂逅と青春期の体験」

石黒 久(73回)



私がエベレストに登頂して、既に26年が過ぎた。世界で始めて秋のエベレスト登頂、日本人で二度目、ヒラリー、テンジンの初登頂から始まって37人目の登頂だった。新潟高校山岳部から始まった私の登山人生で最大の感動を得た瞬間でもあった。

青春期の体験はその人間の生涯に決定的な影響を与えると言うが、登山を通じての体験が私の人生に大きな影響を与えた。私の登山とは困難への挑戦であり、登頂することにより困難を克服する感動が原点です。これを登山の言葉でアルピニズムと言います。学生時代には登山の困難な挑戦を続けるため、北アルプス、

南アルプス、上越の谷川岳等、夏冬とわず年間100日以上も登りつづけました。

そしてヒマラヤ、エベレストの体験、はじめての海外。ネパールに入るためインドのカルカッタで、空港からホテルまでの道中、裸の男女がたむろし、牛が道路を我が道と占有して、町中に牛の糞と汚い匂いが充満していた。カルチャーショックを受け車でネパールに向かって行くとインドの無限に広がる赤い大地と悠々と流れるガンジス川、そして遠く高く聳える白いヒマラヤ、不思議と自分の世界が無限に広がっていく感動を覚えた。この感動が禁断の実を食べたような効果となり、私が異民族の中で、土木技術者として、このような大地で仕事が出来たらと思ったのもこの時からだ。

エベレスト登頂後、夢を実現した私にとって、次の困難な登山への挑戦心が芽生えたが、一方では土木技術者としてのロマンもあり、一時揺れ動いた時期もあった。結果として、大成建設の現場に出るようになって、建設現場の仕事が工事完成まで目標に向かって、日々邁進して行く姿勢が登山活動と大変似ており、山の情熱が仕事に変わってしまった。

そして、若き日に夢見た海外の低開発国での仕事が、くしくもヒマラヤから流れてくるガンジス河のバングラデッシュ国で、

水力発電所建設が最初であった。そしてネパールではその国最大の水力発電所建設工事で所長の命を受け、青春をヒマラヤにかけた山男として、ネパールへの恩返しとともに山男冥利につきる数年間でした。この水力発電所は、日本人が始めて8千米のヒマラヤに立ったマナスルから流れてくる川を堰きとめる水力発電所で、毎日マナスルを見上げ、わたしにとっては第二のエベレストに挑戦するような毎日であった。山男がヒマラヤの山に大きなトンネルを掘り、4年の歳月をかけて完成した時は、まさしくエベレストの頂上に立った心境だった。

そして、現在、本社で海外での新しいプロジェクトをまとめるべく、海外を飛び回っている。どうも山男のせい、世界の高い山のある国で大きなプロジェクトをまとめたくなり、昨年は南米のアンデス山脈のペルーで火力発電所、今年はカラコルム山脈のパキスタンでインダスハイウエー道路建設工事を、もちろんネパールでも道路工事を続けている。

青春期の体験がその人の人生に決定的な影響を与えてくれた事をエベレストの思い出とともに邂逅し、新潟高校の後輩達が無限の可能性を秘めた人生のはるかな道を、目標に向かってぜひ挑戦してもらいたいと思っている。



総会に出席して

幹事長 坂井 俊一(64回)

青山同窓会(本部)総会は、7月9日、ホテル新潟で、約800名の老若男女が一堂に会し、さしもの大ホテルの大広間も、溢れんばかりの熱気と人いさきで、所狭しといった感じであった。

東京からは、栗林新会長はじめ5名が、

会を代表して出席したが、他にも個人的に出席した会員がかなり多かったようだ。

総会は、上村会長が、さすがに元新潟日報社長という、手なれた議長役で、スムーズに議事が進行し、とくに2年後の平成13年秋に母校の校舎竣工と、創立110周年とあわせて、記念事業を行うとの案件が上程され、満場一致で承認された。

懇親会に入って、新旧の校歌を斉唱したあとは、会場も入り乱れて、あちこちの卓に懐かしい顔を見つけては、杯を重ね

るうちにいつのまにか紅顔可憐な少年時代に戻ってしまった。これこそが、同窓会という名の魔力で、私などは毎年好んでこの魔力にはまっている。

総会の翌日、東京に向かう車中では、前日の興奮の余韻がさめやらず、「出席してよかった」と思う一方で、東京の総会でもせめて新潟の半分は無理としても、3分の1くらいの出席者を集めることができないのだろうか、と、二日酔いの頭をあれこれめぐるせながら帰路についた。

同期会59回報告

園城 英二

平成11年6月12日～13日に第59期同期会が越後湯沢温泉ホテルニューオータニに於て開催された。第59期同期会は毎年開催されておりますが、いつもは新潟地区と東京地区で別々に行われており、今回は数年振りに合同で一堂に集まり、恩師の田辺啓三先生をお招きして総勢36名で盛大に行われました。

開催に先立ち、校歌の斉唱、亡き恩師ならびに旧友への黙祷を捧げ、近況報告として新潟を代表して関根彰園君より、又東京を代表して茂泉喜彦君よりそれぞれ挨拶があり、引き続き田辺先生よ

りお言葉を頂きました。次いで東京青山同窓会会長の栗林貞一君の音頭による乾杯をして懇親会へと移って行きました。大いに飲み、語り宴たけなわの中、銘酒

越乃寒梅の抽選会もあり、夜のふけるのも忘れ楽しい一夜を過ごしました。翌朝、次に開催する同期会での再会を誓って散会致しました。



同期会61回報告

年金受給開始の歳、楽しい
ゴルフ会の近況、その他

中村 正春

百里流れて信濃川・・・青陵健児61期生は、卒業後25年目の昭和53年関東近辺在住の有志で「東京青山61期会」を発足させ、その後毎年秋に新宿、池袋や銀座等で同期会を開催してきた。

昭和57年9月高田馬場で開催した同期会で、61期生に因み6月第1土曜日を例会日に決定し、卒業時のクラス別で幹事役を担当することにした。

A組(池ホーム) 池 政栄先生
B組(土岐ホーム) 土岐元春先生
C組(渡辺ホーム) 渡辺秀英先生
D組(松田ホーム) 松田一郎先生

E組(川島ホーム) 川島 正先生

F組(本間ホーム) 本間正巳先生

G組(大黒ホーム) 大黒山平先生

卒業生324名のうち、首都圏在住者は約115名であり毎回参加者は60余名を数え、その定例会も回を重ね今年で20回目となった。また、5年毎に故郷新潟で新潟在住の同期生(長谷川義明市長など)と新潟に1泊し、東京、新潟合同の同期会を開催してきた。

30周年記念 古町鍋茶屋 参加 72名

35周年記念 岩室温泉 参加 70名

40周年記念 瀬波温泉 参加 72名

45周年記念は、平成10年6月6日岩室温泉で開催、80名が参加した。

恩師渡辺団長先生と大橋禎助先生を招待。翌6月7日新潟ゴルフ倶楽部にてコンペ。10組40名が参加し、同期生が賞品を持ち寄りたいへん楽しい会となった。

平成15年の50周年記念はより多数の参加者が集まることを今から楽しみにしている。

東京青山61期会も年毎に参加者が増え、今年は平成11年6月5日四谷駅前にあるスクワール麹町芙蓉の間に集まった同期生は63名。大いに飲み食べ談笑し、時間の経つのが速く感じられた。恩師大橋禎助先生は新潟から参加していただき、その他新潟から特別参加同期生が持参した銘酒「越乃寒梅」をおおいに廻し飲み、校歌を斉唱し会は非常に盛り上がった。

我々は健康でいつまでも元気にゴルフをやろうと同好の者が集まり、「東京青山61期マスターズ会」と名付け、大相撲ではないが春・夏・秋・冬の年4場所を定期戦とし、5～6組が参加している。特に夏場所(5月中旬)は新潟勢と関東在住者が



夫人同伴で1泊のゴルフコンペを開催している。毎年10組になり盛会である。

幹事は同期会と同様、同好のメンバー30名を4グループに編成し、幹事持ち回りでコースを設定し、青春を謳歌している。この他に2組か3組で各々の持コースで年数回とか、海外にも遠征している。こんな61期生は65歳になった昨今、これからも元気で1年でも長くゴルフを続けたいと祈願している。

フレーフレー青山。フレーフレー青山。



同期会82回報告

八藤後 茂樹

10月も半ばを過ぎ、秋の装いの向こうには冬の気配が感じられる今日この頃、皆様におかれましては御健勝のことと、お慶び申し上げます。

さて近ごろ希にみる猛暑であった去る8月12日に、新潟市内の新潟グランドホテル「悠久の間」におきまして、82期同窓生の25周年同期会が開催されました。

当日は全面改築工事の完了した(一部はまだ工事中)母校の本館社会科演習室

において、柴野章一郎(英正)、小田一彦(化学)の両先生を迎え、午後4時より1時間にわたって「思い出の授業」を開催し、英語による自己近況報告や化学実験講習(手品とも言えるが)で往年の才女、秀才ぶりを思う存分発揮したのでした。また同窓生の栗原道平君が経営手腕を奮っている「信濃川ウォーターシャトル」の水上バスに揺られての大河信濃川散策も大変好評で、青山同窓会の催事にまた新たな一頁を記したと言えました。

同期会は午後7時より、講義を担当された柴野、小田両先生の他に、石黒明徳、上杉雅之、関根彰圓、奈良孝基、山岸達郎、渡辺精也の8先生を迎え、同期生90余名による懇親会が催され、友人たちの変身ぶりや成長に驚きながら、思い出話に花を咲かせることができました。時間の過ぎるのもあっという間に同期会の締めは校歌と丈夫の大合唱となり、30周年の再会を誓い合い、まだ暑さの冷めやらぬ新潟の夜の街へと繰り出したのでした。

最後に、同期会の開催にあたって多くの御尽力を頂きました各実行委員の方々に御礼を申し上げて結びとさせていただきます。



同窓生Yellowpages—その1

広告制作

株式会社パーレン

田中 邦直 (76回)

■パーレンは何をしている会社？

ポスター、チラシ、パンフレット、雑誌広告などを作っているデザイン会社。

■パーレンの社名の意味は？

英語でPAREN/PARENTHESIS [丸括弧] のこと。校正用語で () のこと。< > は、山パーレンという。

■パーレンの設立は？

三木鶏郎のトリプログループの制作会社の業務を引き継いで平成5年4月に株式会社パーレンを設立。

■パーレンの規模は？

デザイナーが6人。小規模だから、フットワークのよさがウリ。

■パーレンの目標は？

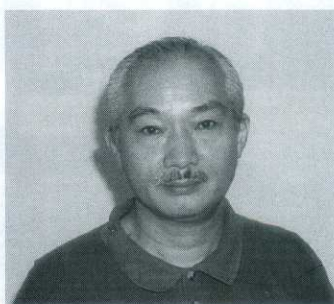
小さくても、楽しく仕事のできる場をいつまでも持ち続けたい。今のデザインワークはパソコンでの作業が中心なので、個人プレイになりやすい状況にあります。個々の感性を尊重しながら共同で仕事を完成させる楽しさを大切にしたいと考えています。CGよりは手作り感覚の温もりの伝わるデザインがさりげなくできるといいですね。

■個人としての楽しみは？

週に一回くらいは、気のおけない仲間と楽しくお酒が飲めること。誰か誘ってくれませんか？・・・

【連絡先】

株式会社パーレン
〒102-0074 東京都千代田区
九段南3-4-14ナカノ九段南ビル4F
Tel:03-3262-2522 (代)
Fax:03-3261-7949



寄稿

「青春、の続き」

石山 裕(79回)

軟派系新聞社に勤めて早くも23年目に突入しました。先生から「文系は就職できない」と脅され、エリート意識の強い人からは「高校一流、就職三流」と冷やかされますが、自分自身の中では、好きなことをやってきたので苦しみとか悩みはありません。ただただミーハー。「好きなことをやるだけ」—それだけです。本当は、ビートルズを筆頭に音楽が好きだったので東芝EMIが第一希望でしたが、折しもオイルショックの就職難で断念。たまたま1989年から日本レコード大賞(今はかつてのような評価はなくなってしまいましたけど…)の審査員を勤めてますが、そのEMIの幹部から頭を下げて投票をお願いされたのも不思議。

あのS&Gのポールのインタビューできたのは記者冥利につきます。

私はすべての科目で全く勉強が出来ず、テストでは終始、後ろから数えた方が早い感じ。480分の480=1-(後ろから)1番などと冗談を言っていたのですが、音楽との出会いは入学時に隣

合わせた荒木一郎君(現三菱重工)のおかげです。名前からして芸能人しますが、こちらは真面目で、大変な秀才。そんな荒木君が意外や、大の洋楽好きで、彼がゴッソリ持ってきてくれたストーンズ、ビートルズに遅ればせながら開眼したという次第です。それまで歌謡曲とかクラシックしか知らなかったの、「コベ転」的カルチャーショックを受けました。単純なものです。フォーク全盛の当時の時代風潮もあって、「ハンドレッズ」(懐かしいですね!)にも大感激!「そうか、音楽で世界を変えられるんだって!」と舞い上がり、才能なんかないくせに、とりつかれたようにギターを買ったり、レコード(当時はEP、LPです)を聞きかじったりして、横山隆晴君(現フジテレビ)とプロ・デビューを夢みました。今から思えば赤面の、まさに“若気の至せり、尽くせり”というやつです。(「ハンドレッズ」の皆さん、ぜひ復活ステージを!!)



筆者左端

寄稿

自然保護の大切さを
教えてくれたダイビング

関口 真太郎(99回)

皆さん、こんにちは。99回卒の関口真太郎と申します。先日、79回卒、89回卒の方々とお会いする機会があり、こちらで原稿を書かせていただくことになりました。

さて、私が特に最近ハマっているものといえば、ダイビングです。昨年までは、海からもスポーツからもずいぶん遠ざかっていたのですが、海の男になるべく、チャレンジしてみました。波乗り系のマリンスポーツと違ってちょっと地味な印象もありますが、海の魅力を全身で感じられるという意味では、一番だと思います。

今までも(あまりきれいとは言えない)伊豆では何回か潜っていたのですが、ついに、この夏、世界中のダイバーたちの間でも話題の沖縄の慶良間諸島へ行くことができました。慶良間は本島から高速船で1時間程の静かな島々です。

マリンブルーの海の中に首を突っ込むと、そこには数え切れないくらい色とりどりの魚がわんさか。とてもすべての種類を覚えることなどできません。それらの魚の間をぐぐって漂っていると、自分も熱帯魚になった気分。

海の中には洞窟もあります。岩肌の横を泳いでいくと、まるでスターウォーズの

同窓生Yellowpages—その2

演 劇

新国立劇場

古川 恒一(76回)

平成9年10月、日本で初めてのオペラハウスを持つ劇場として、初台に新国立劇場がオープンしました。



大・中・小、三つの劇場を有し、オペラ・バレエ・現代舞踊そして現代演劇という現

代舞台芸術のために造られました。

私は平成8年2月、まだ劇場が工事中の段階から、演劇プロデューサーとして劇場の立ち上げ、演劇作品の制作に携わっています。俳優マネジメント、映画のプロデュースからの転進?でした。

開場記念の、井上ひさし新作「紙屋町さくらホテル」(森光子・大滝秀治等)・加藤剛主演「夜明け前」から始まり、市原悦子・江守徹の二人芝居「ディア・ライヤー」、木下順二の名作「子午線の祀り」(野村萬斎・市川右近等)、松たかこ主演ブレヒト作「セツァンの善人」などを担当しました。新しい劇場の柿落としてもあり、遅筆堂の異名を持つ井上さんと格闘した末に、予定通り開幕(賭け率9対1で脚本は間に合わない、巷間

言われていました)に漕ぎ着けた初日の感動は、生涯忘れることができないでしょう。

文化不毛の地といわれた?新潟市も市民芸術文化会館が演劇界にとって注目される、という喜ばしいこともあり、今や、まさに経済から文化の時代。大人が普通に文化を語り、演劇・映画など芸術を語る社会になることを心から希っています。是非劇場に足をお運びください。

【連絡先】

新国立劇場 制作部演劇

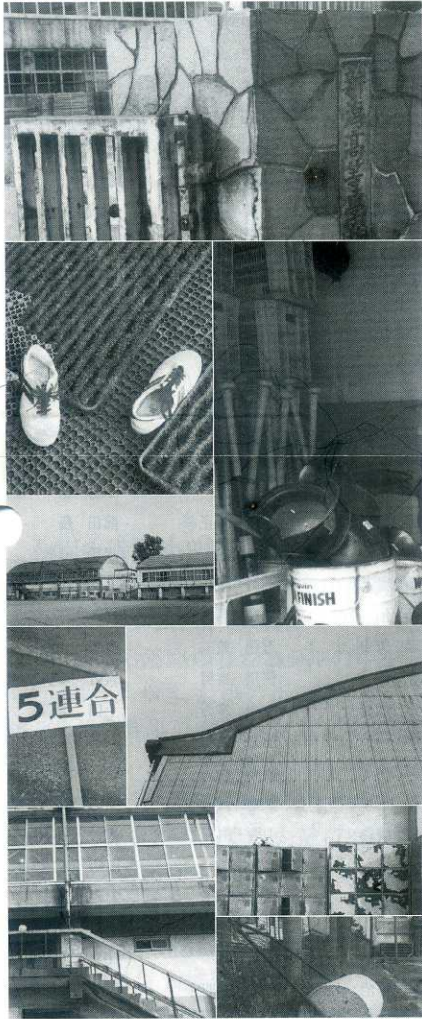
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1

Tel:03-5352-5736(直)

Fax:03-5352-5737

- nostalgia -

旧校舍解体直前の貴重な写真が、85回久保田浩一氏より届きました。静けさと懐かしさが胸にしみる写真です。



住所リスト出力 サービスのお知らせ

当同窓会では、皆さんからの情報を元に常に会員の住所録をコンピューターにて更新しております。「同期会をやりたいけれど、皆の住所がわからない…。アイツは今どうしているんだろう？」などとお思いの方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストを実費にてお届けいたします。ご希望の学年と、リストか、ラベルかを明記し、右記の費用(切手にて)を同封の上、事務局までお送り下さい。

- 住所リスト
1学年/1500円分の切手
- 宛名ラベル
1学年/2000円分の切手

平成11年度・会費納入者一覧

H10.10.1～H11.9.30現在まで

33回 (1名)	46回 (5名)	笠井 謙	朝比奈 和三	山口 和郎
川上 英三	稲野 藤三郎	笠原 仰二	荒井 宏	山城 教成
35回 (2名)	上杉 栄一	梶井 功	飯島 昌弥	山田 幸輝
丸山 求蔵	下 勇	河路 渡	石崎 和雄	山田 陸男
山名 栄一	富所 強哉	北村 茂	石田 智	山中 紀行
36回 (5名)	山田 市男	木下 進	石田 恒良	山本 幸正
植木 正平	47回 (4名)	坂野上 啓	市川 千尋	渡辺 友也
関 昇	朝日 翠	島田 晋	井上 菊雄	57回 (3名)
華房 嶺磨	小杉 吉二郎	鈴木 孝志	今井 忠平	川口 政行
福田 謙也	斎藤 浩一	鈴切 康雄	逢坂 七郎	本田 勝
八木 博	斎藤 しょう太郎	田中 芳彦	大野 利夫	横山 信弘
37回 (2名)	48回 (7名)	千葉 繁太	鹿兒島 昌雄	58回 (22名)
五百川 豊吉	石本 三郎	藤島 武雄	加藤 勝則	池田 成義
馬場 幸一郎	小池 清泰	真壁 三男	金子 昌次郎	指宿 敬里
38回 (3名)	佐藤 素一	丸山 幹男	川崎 尚一	植村 未哉
大沼 正一	真保 昌	吉田 和三郎	川田 幸雄	奥村 陽彦
高野 政夫	立石 哲郎	和具 輝雄	北村 晴四郎	片桐 欣哉
丸山 岩三	田中 利男	52回 (17名)	木村 直平	片桐 啓三
39回 (2名)	山田 猛	阿部 和夫	久慈 正彦	斎藤 茂
桜井 豊治	49回 (19名)	磯 康彦	久保田 剛敏	佐藤 明夫
杉崎 晋	阿部 東	北村 新平	小島 直孝	佐藤 恪
40回 (2名)	池田 純一	栗原 一也	小松 重男	高橋 三男
小山 賢市	井上 正	児島 壽一	近藤 源也	田中 浩次
高田 信川	内田 文雄	斎藤 茂美	斉川 和平	田中 俊男
41回 (4名)	小黑 義一	斎藤 泰五郎	坂井 洲二	落谷 秀雄
五十嵐 富郎	梶山 勝清	坂井 保也	佐藤 幸喜	細貝 実
伊藤 一雄	梶原 計佐	佐藤 昭三	真田 八東	堀内 俊夫
布施 栄信	木村 竜一	橋本 義行	塩見 戎三	松井 慎平
星名 孝平	工藤 弘安	廣川 勲	柴垣 寛	宗村 泰四郎
42回 (5名)	倉田 資孝	廣川 昭二	清水 隆	村山 保
片山 彦三	佐藤 博	宮原 昭三	白勢 陽一	望月 和明
塩谷 正雄	白川 保	村川 修二郎	菅原 惇	望月 高之
高橋 二郎	滝沢 信義	村山 玄二郎	鈴木 正身	本永 祐嗣
田中 正吾	中村 廣徳	森 重郎	鈴木 正安	山谷 皓榮
東城 真佐男	仁保 武人	湯木 昭二郎	鈴木 寧	59回 (43名)
43回 (8名)	濱 博世	53回 (11名)	清野 誠二	阿部 進
梅田 健次	廣川 浩一	岩原 昭	高見 久義	阿部 昌雄
小沢 省三	広川 弘	小林 武	武井 文郎	牛木 素吉郎
里見 昌宏	渡部 松生	近 泰男	建部 恒彦	内田 進一
滝澤 義雄	50回 (15名)	近藤 圭二	田代 九郎	園城 英二
田中 一郎	池田 成徳	塩谷 芳男	照木 仁	大島 洋一
徳重 茂	一柳 俊夫	野田 栄次郎	永井 喜八郎	大野 敏行
野澤 正男	岩澤 信夫	林 博	中川 彰	岡田 久
村山 登	佐藤 剛一	真壁 清	中川 邦司	奥村 繁樹
44回 (8名)	瀬谷 誠	盛山 淑郎	中島 顕	小村 幸久
今井 義乃介	高橋 修	山田 豊	中村 晃	笠井 襲
金子 一夫	塚野 俊彦	渡辺 義隆	中山 昭一	金巻 久
倉 耕一	敦賀 博	55回 (10名)	成田 順治	櫛谷 全一
小山 得二郎	寺田 秀夫	阿尻 威吾	西岡 幸泰	栗林 貞一
斎藤 伸雄	時田 勇司	新井 勝龍	庭山 六郎	栗林 洋
坂井 健一	中村 晴信	倉茂 周明	原 英二	小池 和男
佐藤 敬雄	藤井 義良	斉藤 健一	落谷 昶児	小城 一廣
錦織 登美夫	松原 明	塩谷 政実	藤田 和夫	小林 謙二
45回 (6名)	村山 一	千葉 一雄	伏見 康	佐々木 康裕
大滝 俊夫	山田 英世	千葉 繁治	堀 藤四郎	眞田 八東
金澤 武	51回 (20名)	中村 正義	増田 祐孝	茂泉 喜彦
川村 明義	浅見 信夫	中村 幹男	松井 昭五	洪水 幸三
品田 弘	上野 仁	村山 義夫	三崎 正一	下條 貞友
野瀬 秀雄	大川 宏	56回 (68名)	宗村 禎三	関野 光弘
馬場 義輔	大山 龍蔵	赤坂 長弥	村松 茂樹	高橋 晴夫

東京青山同窓会会報

高橋 正利	金子 章	63回 (18名)	和田 弘治	五十嵐 昭	三澤 京子	玉木 廣	村田 光男	塩田 拓哉
高山 昇二郎	川崎 栄一	65回 (22名)	江上 雅子	荒川 幸夫	72回 (19名)	長井 仁	79回 (6名)	杉林 亨
長島 一郎	河辺 全也	阿部 達	阿部 正男	上村 嶺子	野崎 茂	伊藤 毅	伊藤 毅	関 史枝
長橋 敏雄	木村 政雄	阿部 隆二	安藤 宜清	草野 佐	石田 庄	橋爪 博美	河 正子	田中 研一
納谷 喜郎	熊谷 隆幸	五十嵐 信一郎	五十嵐 徹	小日向 信光	勝見 修	萩野 由里子	佐藤 龍男	田村 誠
西野 武	小池 弘	五十嵐 房子	池野 浩	近藤 和久	熊谷 忠二	波田野 直樹	田中 勝	手嶋 久美子
花井 進	小嶋 哲夫	石渡 利男	伊藤 忠明	桜川 宣男	小林 正昭	萬歳 信行	西口 幸男	戸枝 秋夫
藤原 幸雄	小林 孝司	稲村 健	宇佐美 快昭	佐々木 賢介	斎藤 敏武	藤井 建一	星名 健二	登坂 和生
牧 泰彦	小林 元雄	小原 和子	小沢 征夫	重野 康人	斎藤 俊正	藤縄 利勝	80回 (9名)	西山 信好
水沢 邦弘	斉藤 伸昭	梶原 哲郎	川合 英次	進藤 喜代子	笹谷 秀穂	村山 勝	青木 隆次	橋本 到
皆川 潔	杉山 由人	兄玉 賢司	久保田 泰雄	鈴木 裕徳	佐藤 修	八木 健	位田 和彦	藤石 仁
山崎 徳左衛門	助川 孝雄	高橋 良行	近藤 昭雄	滝沢 辰雄	篠原 一博	山崎 信行	大関 潤	榊湯 博史
山田 和雄	高橋 駿	中村 道衛	佐藤 貞夫	滝澤 辰雄	菅又 滋	渡部 一俊	沖野 謙	宮本 文子
山田 陽一	竹尾 昇	西村 允	柴沢 大五郎	中村 輝夫	太刀川 圭一	76回 (29名)	小野 秀子	吉田 幸司
山吉 一成	田中 宣	村山 弘義	渋谷 皓	中村 秀子	富田 由李	天野 直二	川名 正敏	86回 (3名)
吉田 陽吾	田中 忠夫	山田 恵一	関 英一郎	増子 藤男	花沢 満	石田 志津子	玉木 友二	角田 智子
若木 滋	田村 文男	山田 益也	中野 哲之	松橋 英夫	古山 恒夫	小川 文江	中村 吉郎	斎藤 健
渡辺 満	鶴巻 正義	油本 暢男	半澤 貢	村山 弘	矢島 邦夫	小田 高久	原 永庫	田中 利直
60回 (36名)	中川 圭介	若徳 昭 廣志	本間 武彦	鎗居 秀禎	横堀 弘	尾張 明美	81回 (15名)	88回 (6名)
池浦 厚司	長沼 雄峰	64回 (44名)	本間 忠彦	渡邊 公夫	吉田 秀穂	海部 和史	荒川 秀樹	今井 信一郎
石黒 忠士	長橋 徳衛	阿部 欣司	丸山 一敏	渡辺 哲	渡辺 毅之	加澤 正樹	荒川 洋	小竹 聡
石田 章	中村 正春	植村 頼音	山崎 耕一	69回 (8名)	73回 (7名)	加野 裕資	小野島 正彰	前田 豊
岩田 暁一	長谷川 義明	大石 正晃	山本 和親	青木 利祐	石黒 久	久住 呂 克太郎	尾山 尚	諸橋 博樹
内山 真一	藤田 吉次	大倉 孝男	吉田 治彦	石川 健一	遠藤 裕久	近藤 寿邦	上村 隆	山科 満
岡村 嘉志	藤田 太郎	太田 健治	66回 (16名)	岡田 尚子	中野 治	斎藤 治	越野 昌芳	吉岡 潤
小川 秋実	丸山 正広	柄沢 茂	石山 芳春	佐藤 孝靖	成田 常也	佐藤 芳春	近藤 敦	89回 (2名)
金山 常吉	村山 健	川井 文夫	内田 定寛	清水 一男	南波 祐二	佐野 敬文	笹川 典男	岩野 尚子
河田 鐵雄	谷田部 信	川口 徹	小川 博史	服部 千尋	堀内 隆弘	鈴木 茂夫	佐藤 常芳	土田 良彦
切貫 久司	横村 一郎	川崎 明	川原 英夫	樋口 正臣	宮崎 由美	田中 邦直	白井 秀樹	90回 (4名)
小出 直	62回 (32名)	木山 清	菊池 重治郎	本間 禎介	74回 (16名)	谷沢 承子	白石 義人	歌代 真人
小林 賢一	安食 恒昭	桑野 光雄	木下 功	70回 (22名)	藍沢 幹人	太原 まゆみ	豊島 裕子	奥田 理
小林 吾郎	石黒 恒	斉木 幸彦	熊谷 國男	石井 堅一	青海 潔	田村 俊作	中西 由里	木村 和人
小山 彦	石田 寛	坂井 俊一	佐藤 文孝	猪口 孝	池 一	長北 学	広島 勉	田辺 文
近藤 純夫	岩田 亮司	坂井 敬	塩谷 芳彦	岡田 利邦	石井 拓男	西沢 芳樹	松村 裕子	91回 (1名)
斎木 守雄	内山 隆之	佐藤 章	隅木 良雄	川田 昌人	和泉 潤	林 誠	82回 (8名)	上野 伸二
佐藤 孝	大関 貞子	佐藤 茂司	田中 澄夫	小林 泰嘉	上田 久則	細谷 洋一	稲川 純	101回 (1名)
高城 英雄	太田 杜夫	椎名 睦郎	二宮 靖彦	近藤 健太郎	江口 則男	岡島 伸治	日下部 朋子	佐藤 朋範
高橋 明男	大高 康夫	清水 裕子	野水 宏樹	佐川 幹忠	大滝 均	松田 行雄	小亦 斉	106回 (2名)
千綿 了	小黒 昌一	清水 良男	半澤 弥栄子	佐藤 増穂	加門 文隆	丸山 俊夫	斉藤 滋	江村 重仁
徳田 浩一	角家 孝之	須田 嶺治	三井 昌子	鈴木 正俊	菊池 隆	山際 岩雄	中島 肇	佐々木 渉
富山 和夫	小池 健治	高橋 正幸	鷺頭 陽一	高橋 道子	黒木 幹雄	湯本 雅恵	西山 活子	107回 (1名)
中田 亨	小島 研也	高見 浩	67回 (16名)	田辺 豊	高橋 保	渡辺 祐	宮村 伸一	五十嵐 悠介
野村 保夫	近藤 哲朗	田才 邦彦	一柳 肇	土田 進	竹之内 明	渡辺 雅夫	吉田 実	
長谷川 秀三	佐藤 勝彦	田辺 元彦	大野 隆治	富岡 黎三郎	土屋 彰義	77回 (8名)	83回 (5名)	
長谷川 信夫	佐藤 武司	田巻 亮	岡崎 功	野川 晃一	波多腰 明	片山 等	浅間 芳朗	
早武 正博	新保 利博	田村 康一	風間 繁	花輪 治	山崎 久孝	北村 一雄	遠藤 光郎	
廣瀬 欽次郎	曾我 健	津野 慶浩	片桐 靖忠	本間 裕嗣	75回 (25名)	小池 重直	本山 明	
藤本 剛	高橋 健一	中川 純子	片山 忠一	三国 政勝	有蘭 順子	斎藤 實	山口 虎彦	
益子 恒徳	田子 元	中川 透	川崎 昌彦	山田 修	石塚 文雄	桜井 宗一	横山 修	
松尾 克己	田中 毅	中島 仁	神田 昭紀	山宮 士郎	岩淵 博	生野 勝	84回 (3名)	
丸山 敏視	田中 照雄	中谷 光隆	佐々木 邦夫	若井 正嗣	大越 公平	長谷川 実	大須賀 郷子	
宮田 庄之助	中野 義一	永原 篤	菅又 信	渡辺 允雄	大塚 恵子	山田 民夫	加藤 仁	
矢川 和偉	中村 義一	中村 輝久	高橋 三郎	渡部 美那実	大野 敏雄	78回 (10名)	島津 孝	
山崎 良一	中山 敏彦	中山 儀彦	高橋 信夫	71回 (9名)	大原 哲三	金子 隆	85回 (22名)	
山本 淳夫	広田 俊夫	早川 周作	寺井 宏	五十嵐 勤	川上 滋	川村 和共	雨木 若慶	
61回 (35名)	藤原 岑子	藤沢 靖郎	西 章	井上 恵	小出 公平	志藤 洋子	荒井 文男	
赤堀 和郎	帆刈 宏典	星 満	前田 康久	太田 裕	小山 隆	篠田 敏朗	荒井 裕子	
安宅 久憲	三浦 愛三	堀 健次	山田 十市	大野 義彰	佐藤 邦雄	須田 幸子	今井 豊重	
磯野 啓	皆川 重	皆澤 勝司	68回 (24名)	柄沢 卓	鈴木 正夫	清田 潔	大澤 浩子	
伊藤 英子	村木 隆	山根 伸之	安達 賢司	小飯塚 豊	曾我 正男	肥田 博子	奥村 基	
猪間 駿太郎	山崎 敬介	吉川 要輔	安達 雅巳	中村 英一	高橋 正	水野 秀樹	桑原 敦志	
大橋 恒夫	吉田 行	吉田 豊祐	阿部 尚武	堀 清忠	高橋 久夫	向井 美夜子	佐藤 克志	

以上780名